

私の留学体験記

経済科学部 木村泰朗

留学の理由・目的

留学を決意した理由は2つあります。

1つ目は、「社会教育」というテーマについてさらに深く学ぶためです。大学2年次に南魚沼市に行って中高生の社会探究に携わる講義を受講したことをきっかけに、中高生の探究活動、社会教育に興味を抱き、1年間休学をして、現地で社会探求事業の運営を行うスタッフとして活動を行いました。そうした経験を経て、その分野で先進的であるオーストラリアで学びたいという思いを強く抱きました。

2つ目は、多様な考え方や文化にふれて自らの視野を広げるためです。大学2年次に外国人学生と交流する機会があり、全く異なる文化が広がっていることに純粋にワクワクして、もっと知りたいと思いました。多文化が共存しているオーストラリアだからこそ、様々な国の人と交流して、知らない世界に出会うことができると思い、留学を志しました。

留学先での活動と生活の環境

オーストラリア・シドニーへ1年間交換留学をしていました。交換留学先であるシドニー工科大学（UTS）では、オーストラリアの社会問題や文化を調査し、グループメンバーとディスカッション等を行って、学びを深めました。

また、自分のテーマである「社会教育」を実践的に学ぶため、小学生への社会教育を提供する現地のボランティア団体に所属し、毎週火曜日に活動していました。ここでは社会的に不利な立場にある小学生の識字率向上のサポートを行ったり、キャリアを考えるためのワークを行ったりしていました。特にキャリアワークでは生徒がボランティアの方からお話を聞き、その話をもとに自分のやりたいことを考えるような、日本で行なっているものと似たワークがあり、非常に面白かったです。

さらに留学後半には現地の高校の授業を見学し、オーストラリア特有の“子供の個性を伸ばす教育”を体感し、日本の教育システムとの比較分析も行いました。

現地の学校でのボランティアや見学を通じて、日本で行われている授業スタイルよりも、生徒自身に考えさせる時間、それを友達とブラッシュアップする時間が多く設けられていて、その結果生徒も主体的に探究学習に取り組んでいるように感じ、とても貴重な経験でした。

1日あたりのスケジュールなど

朝8時ごろに起床し、9時から11時まで授業がありました。授業が終わると友人とランチをして、その後は交流イベントに参加したり、スポーツをしたりして仲を深めました。15時から18時ぐらいまでは学校の図書館で授業の予習復習や語学の勉強をし

ていました。それが終わるとジムに行ったり、家に帰って夕食を食べたりしていました。21 時以降はルームメイトと映画鑑賞やおしゃべりをして楽しんでいました。

留学して学んだこと

まず 1 番に、チャレンジ精神、行動力が身についたと思います。留学先大学や活動していたボランティア団体の環境は、自分にとって全く新しく、自分で 0 から構築していく必要がありました。そのため、自分で動き出さないと何も始まらない環境において、「まずやってみる」の精神で何にでも飛び込んでみることを意識しました。行動してみると、意外とうまく行ったり、その場その場で対応していくことで物事が進んでいったりすることを経験し、興味のあることに自分からアクションを起こす大切さを実感しました。そしてその結果、留学後半になると、自分の考え、意見に自信を持てるようになり、それを自分なりに伝える努力をすることで、周りは僕を受け入れてくれるようになりました。自分に自信が持てたとともに、自分の軸が構築されていくようなイメージがありました。

語学がどのくらい上達したか

テストの結果では、IELTS5.0 (留学前) → IELTS6.0 (留学中) まで伸びました。日常的な会話は問題なくできるようになり、英語での会話を楽しむことができるようになりました。日常会話に用いる表現は生活の中から、アカデミックな表現は大学の授業から吸収して、ボキャブラリーを増やすことに繋がりました。

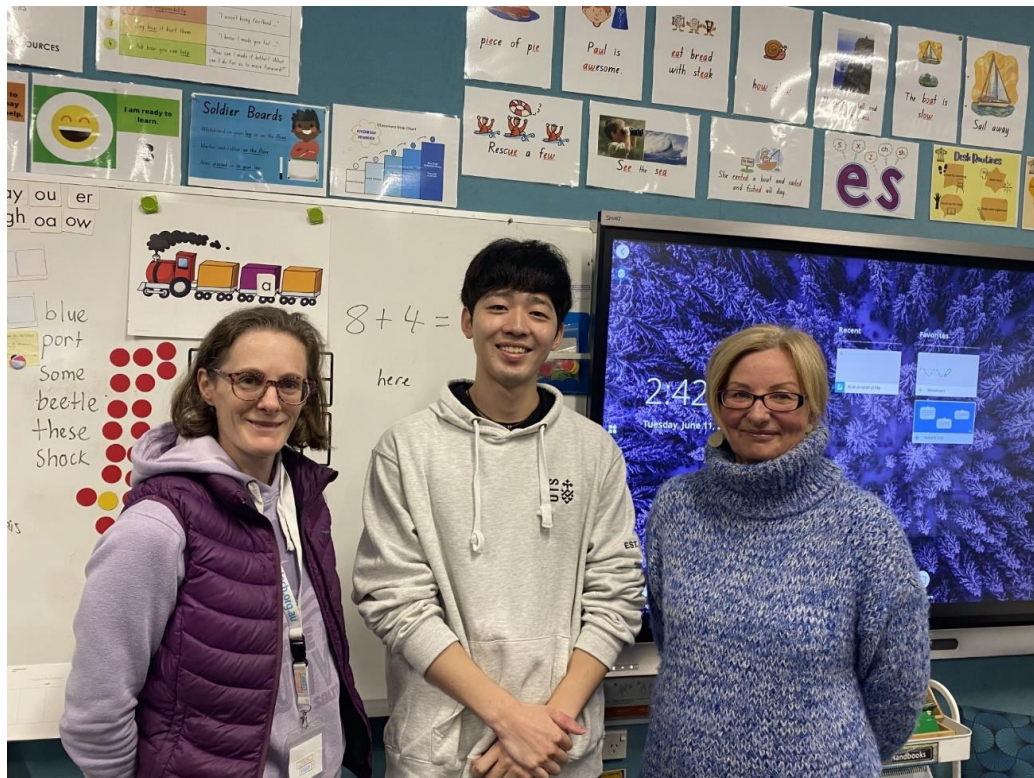
留学を薦める理由

全く縁のない土地に飛び込んで、自分で 0 から全て構築していき、1 年間学ぶという経験は本当に貴重なもので、自分を勇気づけてくれる思い出になりました。特に、自分に自信が持てない人、一歩踏み出す勇気が持てない人、にはぜひ留学してほしいと思います！！僕自身も留学前は自分の決断に自信が持てず、やりたいことはあるけど動き出せないような学生でした。しかし留学を経て、自分だからこその考え方や価値をさらけ出すと、周りも認めて受け入れてくれることを実感しました。留学後には周りからも「自信がついたね」と言われるようになり、自分でもそう感じているので、ぜひ迷っている方は留学にチャレンジしてほしいと思っています！！

トビタテで留学して良かったこと

良かったことは 2 つあります。1 つ目は、留学計画を綿密に建てた上で留学に臨めたことです。トビタテに応募するにあたり、自分の留学の目的を明確にし、それに沿った計画を実現可能性も踏まえながら建てる必要がありました。そのおかげで留学に行っても当初の目的を見失わずに活動を進めることができ、有意義な 1 年間を過ごせました。2 つ目は、自分と同じ志を持つ仲間に出会えたことです。僕と同じく教育関連で留学をする仲間もいれば、全く異なる分野でユニークな留学をしている仲間もいました。

その友人たちに出会ったことで自分の留学に対するモチベーション向上に繋がり、留学に対するワクワクが非常に大きくなりました。留学中も定期的にオンラインで交流し、近況報告をしていたことで、お互いの留学生生活をブラッシュアップできたと思います。



お世話になったボランティア先のメンバーの方々



Sydney Harbour Bridge での写真



ゴールドコーストの Surfers Paradise に旅行した時の写真